

山形 いぶき



YNA 夢・ナースング・愛



最上町立最上病院は、“おもいやり”と“やりがい”をもって『働き続けられる職場をつくろう』をビジョンとして掲げ、ウエルネスタウンもがみを支える自治体病院としての組織目標である『厚い信頼と暖かな思いやりでありましたの医療』を職員一丸となり目指しています。

プラザ内外での他職種との細やかな連携は当院が小規模病院だからこそできる宝物であり武器でもあると自負しています。

まだまだマンパワー不足など問題はありますが、県や町、看護協会の支援のおかげで新年度、待ち望んでいたフレッシュな2名の看護師が仲間に加わりました。

時には1歩後退したり、けれど諦めずに少しずつの歩みですが、結果が少しずつ形となり表われ始めていることを大変うれしく思っています。

最上町立最上病院

前 総看護師長 有路亀代永



TOPICS

❖ 2019(令和元)年度通常総会特集号(別冊)

- 通常総会の開催にあたって
- 山形県助産師出向支援事業について

2019(令和元)年度「日本看護協会通常総会・全国職能交流集会」

- 期日：2019年6月6日(木)～7日(金)
- 場所：北海道函館市 函館アリーナ

2019(令和元)年度「山形県看護協会通常総会並びに職能合同研修会」

- 期日：2019年6月21日(金)
- 場所：山形県看護協会会館・看護研修センター 3階第1研修室他

山形県看護協会ホームページ

<http://www.nurse-yamagata.or.jp>

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクできます。

機種によってはアクセスできない場合があります



山形県看護協会

2019年度会員数
(5月現在)

保健師	347
助産師	350
看護師	6,489
准看護師	166
計	7,352

2019(令和元)年度通常総会の開催にあたって

～新たな時代に、未来につなげる
看護の専門性が発揮できる地域づくり～

公益社団法人山形県看護協会 会長 井上 栄子



2019(令和元)年度の山形県看護協会通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
日頃より山形県看護協会の活動に対してご理解とご協力をいただき、こころから感謝申し上げます。
さて、人生100年時代を見据えた社会の実現に向けて、どこに住んでも適切な医療・介護が安心して受けられるために、地域包括ケアシステムが推進されています。

昨年は、さまざまな制度改正がありました。中でも「働き方改革関連法」の成立により、医療に従事する専門職の働き方や、役割分担や効率的な業務の在り方など大きな影響があります。質の高い医療・看護の提供のために、健全な組織と、より良い労働環境の実現に前向きに取り組むことが求められています。

そして2020年度からは、現行の認定看護師制度に、特定行為に係る看護師の研修制度を組み込んだ新たな認定看護師制度が開始となります。一人でも多くの認定看護師に特定行為研修を受講していただけるよう支援をしていきたいと思ひます。

重点事業「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築と地域の看護力の強化」としては、2017年から山形県看護協会事業「地域の看護力強化事業」として実施し、西北村山地域、最上地域の看護管理者のネットワーク会議の設立、2018年度は、東南村山地域の看護管理者ネットワーク会議の設立をサポートし、ほぼ全医療圏での看護管理者のネットワークが構築されました。

併せて、山形県訪問看護サービス提供体制整備事業「担い手創出等事業」は、3人の病院看護師が3つの訪問看護ステーションに、それぞれ在籍出向できました。医療機能の分化により、医療依存度の高い患者や終末期にある患者が地域で療養することが多くなるため、看護師には退院調整や在宅支援の高い能力が求められます。

今後も事業を継続して取り組むことが必要と思ひます。また、訪問看護ステーションの空白地域である最上北部医療圏に、開設した訪問看護ステーション新庄サテライトまわる川の訪問件数は、300件を超え、希望すれば在宅で療養できる地域づくりに、3町村(真室川町、鮭川村、金山町)との連携を図り、更なる努力をしていきたいと思ひます。

加えて「令和」という新たな時代に、未来につなげる看護の専門性が発揮できる地域づくりができるように支援していきたいと考えています。

最後になりましたが、会員の皆さまはじめ関係職種の皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ挨拶いたします。よろしくお願いいたします。

栄えある受章、おめでとうございます



叙勲 瑞宝単光章

◆ 前野 好子 様 (元山形大学医学部附属病院看護部副看護部長)

◆ 吉田 智子 様 (元山形大学医学部附属病院看護部看護師長)

日本看護協会会長表彰

◆ 吉田美智子 様 (山辺町地域包括支援センター室長兼センター長)

◆ 若月 裕子 様 (前米沢市立病院副院長兼看護部長)

山形県助産師出向支援事業における助産師派遣について

北庄内の分娩を支え合うための一歩!!

日本海総合病院 副院長(兼)看護部長
中村 美穂

日本海総合病院では、山形県看護協会・井上栄子会長からの要請を受け、当機構・栗谷義樹理事長の出向事業へのご理解のもと、平成31年2月1日から3月31日までの2か月間、いちごレディースクリニックへ助産師1名を派遣しました。

庄内では初の試みでしたが、当機構は地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」設立後、連携法人へ看護師の出向を行っていることもあり、助産師の出向事業に対する受入れはスムーズでした。出向者選出にあたっては、出向目的を「助産師のキャリアアップ」「出向先の労働力需要に応える」とし、全助産師へ意向調査を行いました。出向を希望したスタッフの中から、出向先が求める人材であり、病棟師長の推薦があった上野美紀主任助産師を選出しました。慣れない環境で助産業務を行うストレスや安全面について心配していましたが、クリニックの太田院長をはじめとするスタッフの温かい対応、双方の事務職員の協力、そして看護協会の多大なるご支援のもと、無事事業が実現できたことを心から感謝しております。

今回の出向事業を通し、クリニックの人材確保の事情、同じ酒田市内に位置する分娩施設同士の連携の重要性を再認識し、これからは「北庄内の分娩を支える」という視点で、当院の助産師の在り方を考えていきたいと思ひます。

庄内初、
助産師出向事業を振り返って日本海総合病院 助産師
上野 美紀

2月から2か月間の酒田市内のいちごレディースクリニックへの出向は、庄内地域においては初の試みでありました。出向期間は看護協会、病院、クリニック各方面から出向事業の環境を整えていただきました。そのおかげで2か月間の勤務を無事に終えることができたと感じています。

さて、クリニックでは妊産褥婦や新生児に対しスタッフ全員でケアにあたっており、アットホームな雰囲気や入院環境が印象的でした。そのような中で(私自身は病院勤務20数年ですが)システム・紙カルテの記録・外来と病棟の連携などクリニックの環境に慣れるまで3週間以上かかったように思ひます。出向期間中は主に日勤業務に携わり、産後の母児のケアや指導、新生児の検査実施、分娩介助や分娩前後のケアを行ないました。2か月という短い期間を評価することは難しいかもしれませんが、フルタイムの日勤助産師が1名確保できたことは、人的支援の一助になったのではないかと思ひます。この経験を病棟で共有しながら、今後の地域における連携を考えていきたいと思ひます。

助産師出向支援を受けて

いちごレディースクリニック 院長
太田 聡

この度、助産師出向支援システムを利用し、2～3月に日本海総合病院より助産師1名の出向応援をいただきました。当院は医師1名、助産師7人、看護師・准看護師7人のスタッフが勤務しており、平成30年の分娩数は317件でした。人員的には、恵まれている方とは思ひますが、1日3交代、夜間も分娩時2人は必要となると、ぎりぎりシフトをまわしているのが現状です。このため、出向支援のお話は喜んでお受けしました。

10月にお話をいただき、そこからバタバタと話をすすめ、どうにか実現にこぎつけることができました。実際の勤務状況ですが、当院の助産師に日本海病院勤務経験のある者が数名おり、出向助産師さんと同期の者もいましたので、すんなりと当院での環境になじんでいたという印象を持ちました。こちらの要望であった夜勤も、3月に2回は行っていただけたので、短い期間でしたが、人員支援という面では、満足いく結果だったように思ひます。

ただ、あまりゆっくり話をする時間がもてず、当院の印象なり、問題点なりのリサーチがきちんとできなかったことが悔やまれます。また、その他の問題点として、施設相互の賃金面の差があり、調整が大変でした。事業からの補填はありましたが、それでも溝は埋まりませんでした。

乗り越えるべき課題はまだあると思ひますが、出向元先双方に利益のある良いシステムにしていきたいと思います。

平成30年度 公益社団法人山形県看護協会臨時総会 報告

開催日時 平成31年2月23日(土)15:30～

開催場所 公益社団法人山形県看護協会会館

参加状況 臨時総会出席者数164名、委任状数6,033名、合計6,197名

総会成立 平成31年1月31日の会員数7,814名のため、定款第17条に基づき、出席者数が会員の2分の1以上を満たしており臨時総会は成立した。

審議・議決事項[提出議題]

第1号議案 公益社団法人山形県看護協会定款の一部改正について

臨時総会にて審議され、定款第21条(役員の設置)及び定款第26条(役員の任期)の一部改正が賛成多数により、承認された。

山形県看護協会

職員の入職・退職等
のお知らせナースセンター課長
船山 和子

ナースセンター課長として

4月より、山形県ナースセンター課長として勤務させていただくことになりました。今までの経験を生かせればと思い飛び込んだ世界ではありますが、全く違う仕事内容に大いに戸惑っている毎日です。ナースセンターのスタッフの皆様にご助けて頂きながら、第2の人生の挑戦と思い、日々頑張っています。どうぞよろしくお願いいたします。

退職者

庄司 祐 (前ナースセンター課長)
小関千代子 (前総務課課長補佐)

異動者

佐々木由加里
ナースセンター担当から総務課担当

今年度も事務局一丸となって皆様のお役に立ちたいと頑張りますので、ぜひ協会に足をお運びください。

2019年度「今野フサ子記念奨学金」
募集受付について

今年度も「今野フサ子記念奨学金」の募集を下記期間行います。当協会ホームページ掲載の2019年度「今野フサ子記念奨学金」給付奨学生募集要項を参照してご応募ください。

【応募書類受付期間】

2019年6月1日(土)～
6月29日(土)

information インフォメーション

会員専用WEBページ『キャリアナース』にご登録ください!!

会員の皆さまのキャリア構築を支援する会員専用WEBページです。氏名(改姓)、住所、電話番号、勤務先等の会員基本情報の変更、会員証の再発行申請も行えますので、ぜひご活用ください。

●2019年5月21日現在 キャリナース登録者数 1,704名

日本看護協会「キャリアナース」URL ▶ <https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>